

交通ルールを守ります!

～親と子の交通安全教室を実施!～



高島交通安全協会では、4月から小学生になる園児とその保護者を対象に、3月5日（月）から13日（火）にかけて各地域ごとに「親と子の交通安全教室」を開催しました。

小学生になると、子どもたちの行動範囲も格段に広がり、交通事故の発生が心配されます。この教室では親と子が一緒になって、交通事故から身を守る心構えを人形劇や腹話術、紙芝居などを使って楽しく学びました。そして、交通事故に遭わないようにするためには、「確実に交通ルールを守らなければならない」ということをしっかり胸に刻みました。（交通対策課）

宝くじの収益が コミュニティ活動に 活かされています

（財）自治総合センターによる「平成18年度宝くじコミュニティ助成金」を受けて、竜自治会（高島）が地域の活性化を担う伝統行事である大溝祭で使用する曳山の改修や太鼓の購入をされました。

この事業はコミュニティの健全な育成を図るとともに、宝くじの普及広報活動を行うもので、コミュニティ活動に直接必要な施設、または設備の整備に助成されます。



（自治協働課）

★高島市内の交通事故発生状況

●発生状況

（平成19年2月現在）

	今年	昨年 (同時期)	増減
人身事故発生件数	37件	55件	▲18件
死者数	0人	1人	▲1人
傷者数	52人	87人	▲35人
県内の交通事故死者数	13人	13人	0人

●交通事故の特徴

事故の形態
追突 11件 (29.7%)
出合頭 10件 (27.0%)

高齢者 (65歳以上)
10件 (27.0%)

発生場所	
マキノ	4
今津	9
朽木	1
安曇川	12
高島	1
新旭	10

★今月の男女共同参画啓発標語・川柳

最優秀賞

『みんながね 同じ分だけ 輝こう』

赤水 理夏（高島市武曾横山）

「男女共同参画社会づくり」の取り組みの一環として、家庭や地域、また職場や学校で男女共同参画についてより身近に、広く知っていただくことを目的に、昨年10月に標語・川柳を募集しました。その中から毎月1作品をご紹介します。（自治協働課）



古紙リサイクル率100%再生紙を使用。

大豆インクを使用しています。